

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長	平井 あかね
こども-14 児童福祉運営事業		■ 自治事務	主管課	こども相談課
		■ 法定受託事務	関連課	こどもみらい課、保育課ほか
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため
効果	児童福祉事業が適切に実施される

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> こどもと家庭の相談室の運営を通して児童虐待の未然防止と早期発見、対応を行う (育児家事援助及び要保護児童対策協議会はH27から養育支援訪問等事業へ) 遺児の福祉の増進を図るため、市へ寄附された寄附金を遺児福祉基金に積み立てる

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	10,091	決算値(千円)	12,861	
	国県支出金	1,878	国県支出金	4,427	
	地方債		地方債		
	その他	10	その他	100	
	一般財源	8,203	一般財源	8,334	
	人員配置数	1.3	人員配置数	1.5	
事業経費運営	人件費(千円)	10,200	人件費(千円)	11,389	
	総事業費(千円)	20,291	総事業費(千円)	24,250	
	市民1人当りの経費(円)	114	市民1人当りの経費(円)	137	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	こどもと家庭の相談室の相談体制の充実	
課題解決のために行った平成26年度の取組	虐待未然防止のための取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	虐待未然防止を目的とした事業の充実	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	こどもと家庭の相談室に寄せられた相談等に対する適切に対応することにより、児童虐待の予防及び早期発見に努めるとともに、子育てにストレスを抱えている保護者を支援する講座等を継続的に実施することにより、児童虐待が起こりにくい環境を整備していく。	
総評	こどもと家庭の相談室に寄せられる相談の件数にかかわらず、児童虐待が起きにくい環境を整えていくため、相談の質、体制をより充実しながら、今後も事業を継続していく。			

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	児童虐待対応、相談件数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	380件	415件							
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	児童虐待対応及び相談支援、未然防止体制の充実						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	児童虐待相談体制の充実を図るため	
	目標値	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0		
	実績値	380.0							
	達成率	95.0%							
指標の内容							単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
指標の内容							単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
指標の内容							単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
指標の内容							単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--